

令和3年度伴走型小規模事業者支援推進事業

RESAS 地域経済分析システムを活用した
作州津山商工会管内経済動向分析報告書

令和3年12月

作州津山商工会

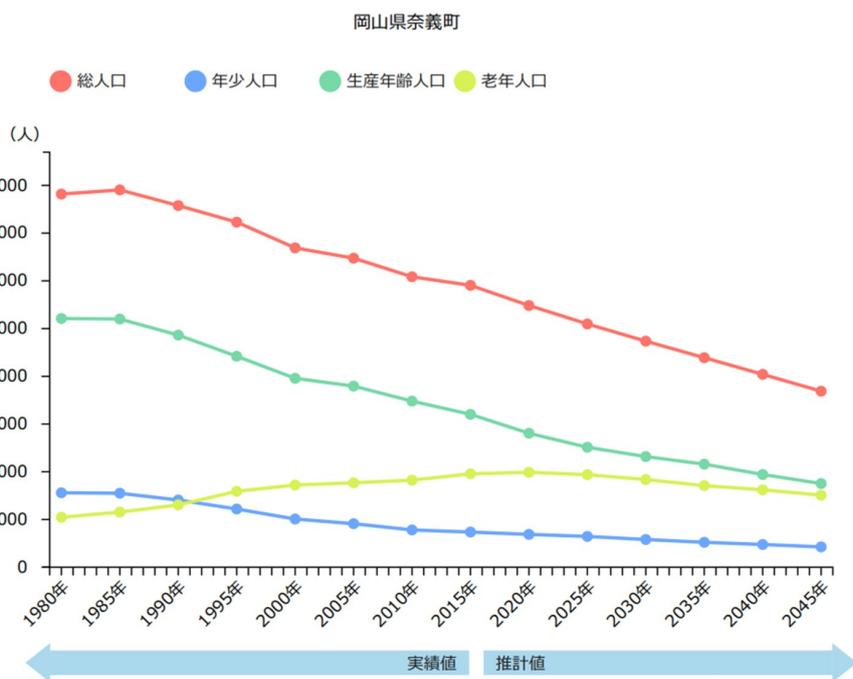
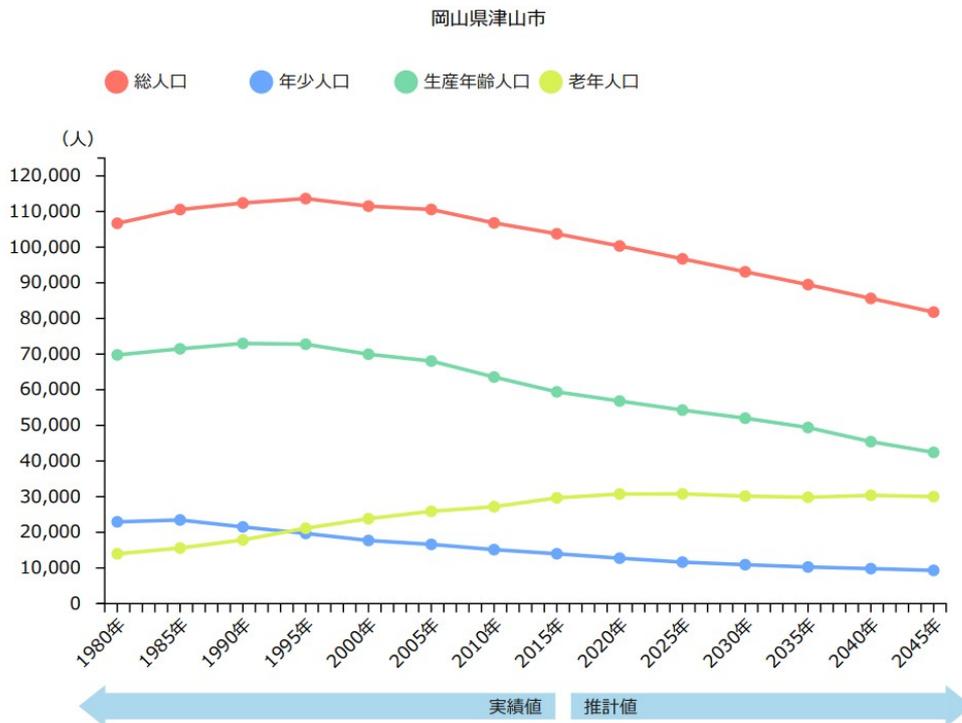
目次

| | |
|----------------------------|----|
| 1. 地域の人口動態 | 1 |
| (1) 人口推移・推計 | |
| (2) 人口動態・増減 | |
| (3) 年代別人口増減 | |
| 2. 地域の経済動向 | 5 |
| (1) 農林業の動向 | |
| (2) 企業数（大分類） | |
| (3) 従業員数（大分類） | |
| (4) 従業員数（大分類） | |
| (5) 売上高（大分類） | |
| (6) 付加価値額（大分類） | |
| (7) 労働生産性 | |
| (8) 創業比率 | |
| (9) 黒字比率 | |
| 3. 地域の人流動向 | 18 |
| (1) 滞在人口の月別推移 | |
| (2) 宿泊客数（津山市のみ） | |
| 4. 新型コロナウイルス感染症による影響の把握・分析 | 20 |
| (1) 滞在人口・宿泊者数 | |
| (2) 作州地域の業況判断 | |
| (3) 保証・融資 | |
| 5. 地域別・業種別動向の分析・把握 | 22 |
| (1) 作州津山商工会管内の経営者の年齢 | |
| (2) 地域経済循環図 | |
| (3) 業種別動向 | |
| 6. 業種の経営改善の方向性 | 26 |
| (1) 作州津山商工課管内の経済的特徴 | |
| (2) 各業種の経営改善の方向性 | |

1. 地域の人口動態

(1) 人口推移・推計

津山市は 1995 年頃をピークに減少、2045 年には約 9 万人まで減少する恐れがあります。
 奈義町は 1985 年頃をピークに減少、2045 年には約 4,000 人まで減少する恐れがあります。



【出典】総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

【作州津山商工会管内の動向】

令和3年4月の津山商工会管内における津山市人口は16,024人であり、津山市人口の2割弱を占めています。

作州津山商工会管内 統計数値

| 年度 | 地区 | 人口 | 世帯数 | 高齢化率 | 商工業者数 |
|-----------|-------|--------|-------|-------|-------|
| 平成31年4月1日 | 勝北 | 6,090 | 2,665 | 36.4% | 287 |
| | 加茂・阿波 | 4,619 | 2,019 | 42.6% | 227 |
| | 久米 | 6,530 | 2,741 | 38.9% | 352 |
| | 奈義 | 5,835 | 2,429 | 34.9% | 243 |
| 合 計 | - | 23,074 | 9,854 | - | 1,109 |

| 年度 | 地区 | 人口 | 世帯数 | 高齢化率 | 商工業者数 |
|----------|-------|--------|-------|-------|-------|
| 令和2年4月1日 | 勝北 | 6,013 | 2,691 | 36.9% | 275 |
| | 加茂・阿波 | 4,477 | 1,988 | 43.4% | 219 |
| | 久米 | 6,425 | 2,743 | 39.7% | 346 |
| | 奈義 | 5,787 | 2,459 | 35.0% | 235 |
| 合 計 | - | 22,702 | 9,881 | - | 1,075 |

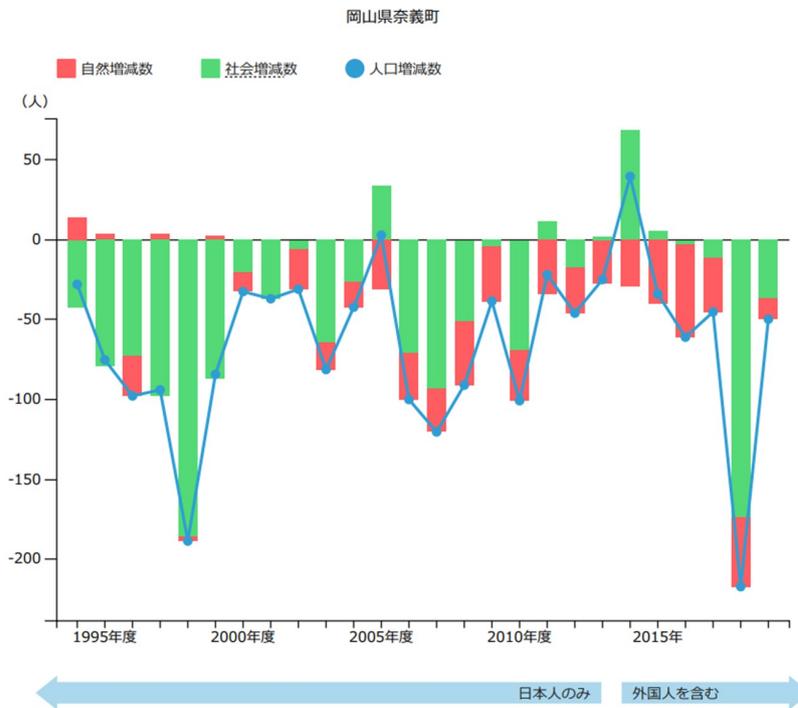
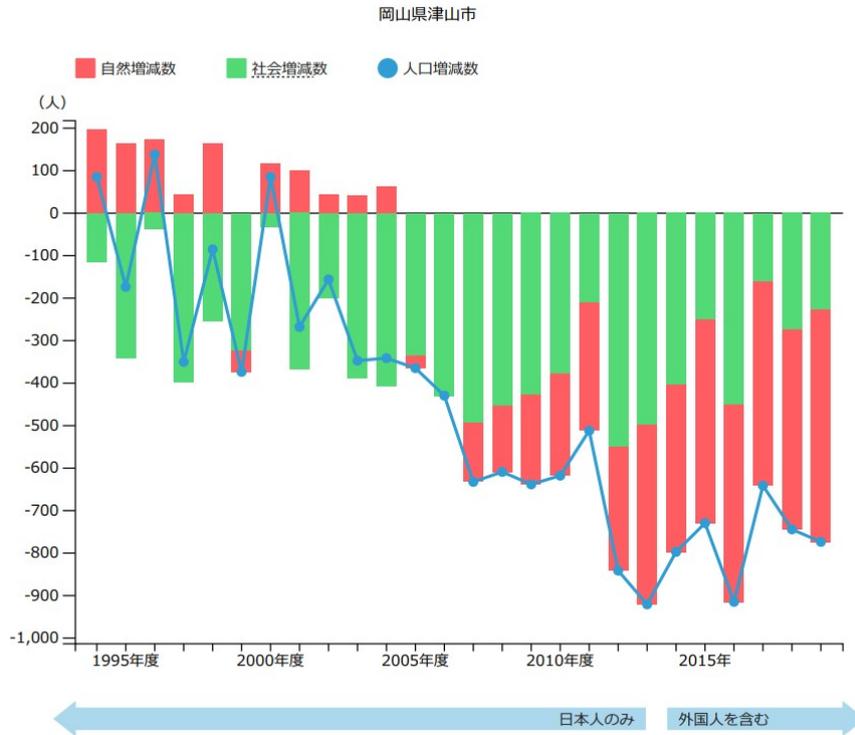
| 年度 | 地区 | 人口 | 世帯数 | 高齢化率 | 商工業者数 |
|----------|-------|--------|-------|-------|-------|
| 令和3年4月1日 | 勝北 | 5,940 | 2,711 | 37.7% | 273 |
| | 加茂・阿波 | 4,340 | 1,971 | 44.3% | 208 |
| | 久米 | 6,335 | 2,743 | 40.5% | 327 |
| | 奈義 | 5,744 | 2,481 | 35.4% | 230 |
| 合 計 | - | 22,359 | 9,906 | - | 1,038 |

人口・世帯数は、住民基本台帳より 各年4月1日現在 商工業者数は商工会調査
 高齢化率は、津山市オープンデータより 各年1月1日現在

(2) 人口動態・増減

津山市は2000年頃までは自然増・社会減の状況にありましたが、近年ではともに減少し、人口減少を加速させています。

奈義町は数度社会増があり人口施策効果がみられましたが、今後は大幅な減少が予測されています。

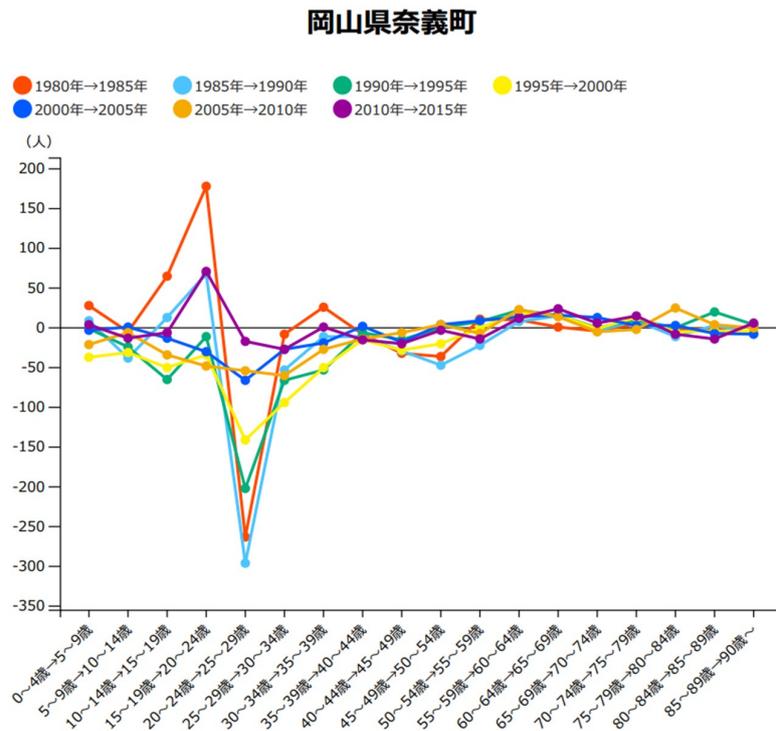
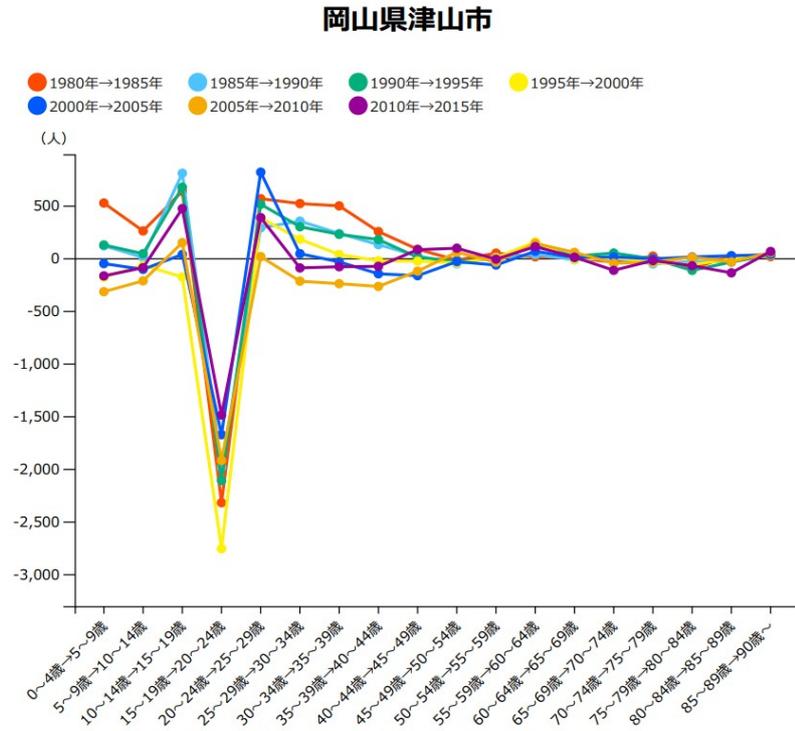


【出典】都道府県：厚生労働省「人口動態調査」、総務省「住民基本台帳人口移動報告年報」

(3) 年代別人口増減

津山市は15～19歳から20～24歳にかけての就学時や就職時での人口減少が顕著です。

奈義町は20～24歳から25～29歳での流出が顕著な年代がありましたが、近年では安定しています。



【出典】総務省「国勢調査」、厚生労働省「都道府県別生命表」に基づきまち・ひと・しごと創生本部作成

2. 地域の経済動向

(1) 農林業の動向

① 農業生産額

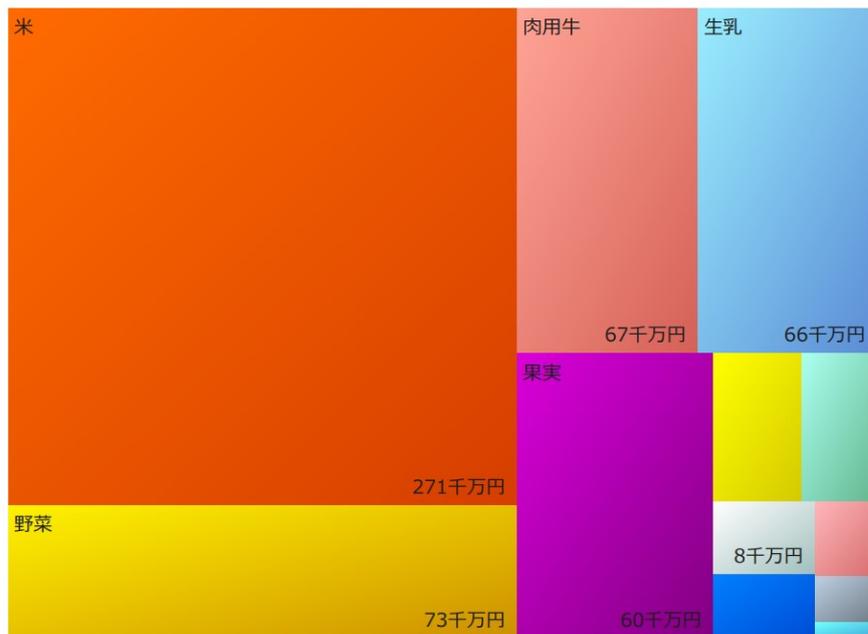
津山市は米が最も多く、次いで野菜、肉用牛となっています。

奈義町は肉用牛が最も多く、次いで生乳、米となっています。

品目別 農業産出額

岡山県津山市

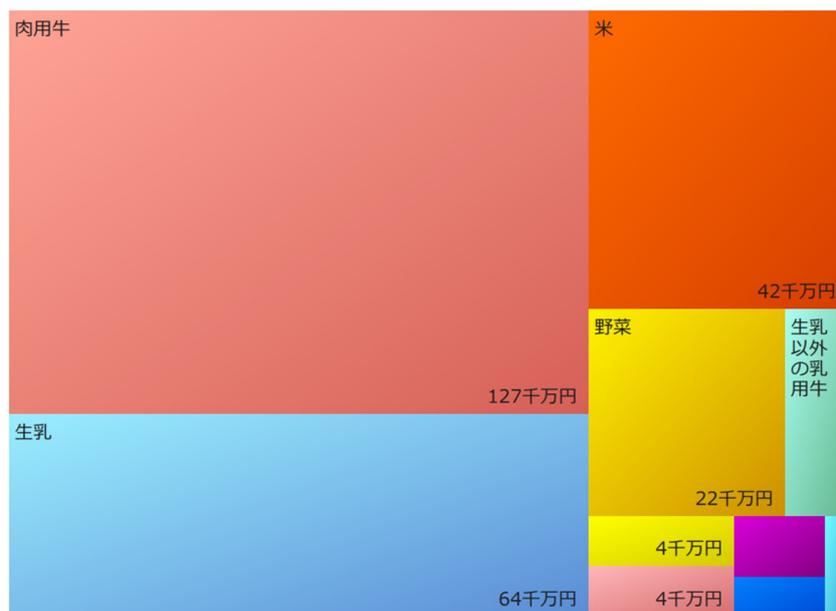
市町村別農業産出額（推計）：589千万円



品目別 農業産出額

岡山県奈義町

市町村別農業産出額（推計）：304千万円



【出典】農林水産省「市町村別農業産出額（推計）」

②農業経営者の平均年齢

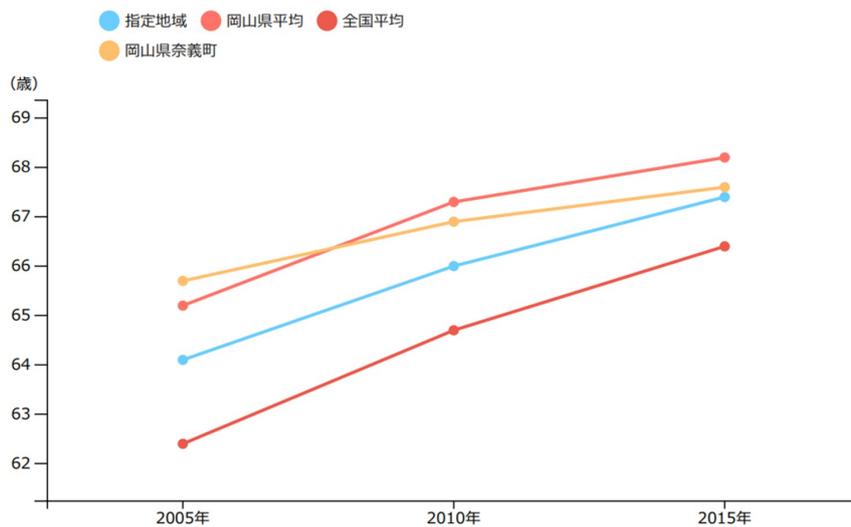
津山市は全国平均よりも高く、岡山県平均より低くなっています。

奈義町は全国平均よりも高く、岡山県平均より低くなっています。津山市より高齢の状況にあります。

農業経営者の平均年齢

指定地域：岡山県津山市

性別：総数



【出典】農林水産省「農林業センサス」再編加工

③農業生産額

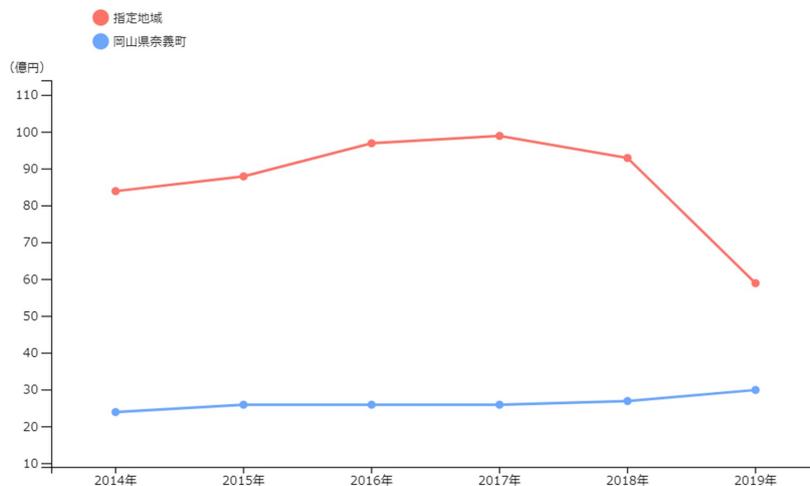
津山市は2017年以降産出額が減少しています。

奈義町は微増傾向にあります。

農業産出額（総額）

岡山県津山市

すべての農業部門



【出典】農林水産省「農林業センサス」再編加工

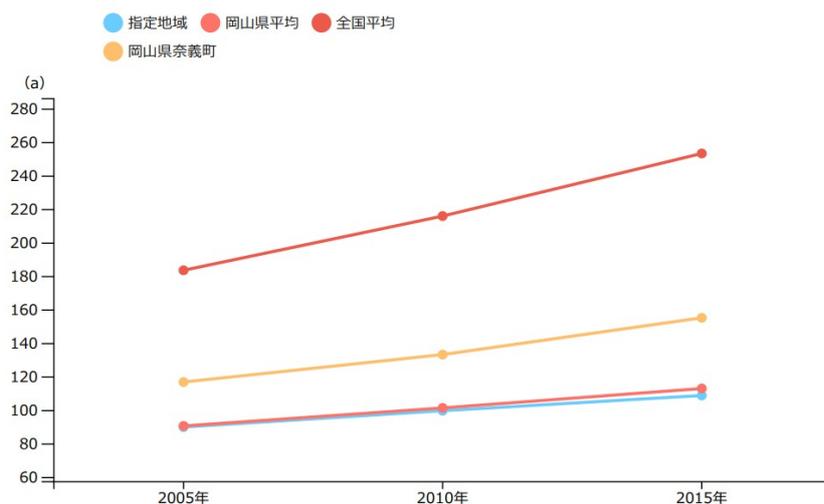
④経営耕地面積

津山市は全国平均よりも小さく、岡山県平均より小さくなっています。

奈義町は全国平均よりも高く、岡山県平均より大きくなっています。津山市より相対的に規模が大きい状況にあります。

経営耕地面積（経営体あたり）

指定地域：岡山県津山市
農地区分：すべての農地区分



【出典】農林水産省「農林業センサス」再編加工

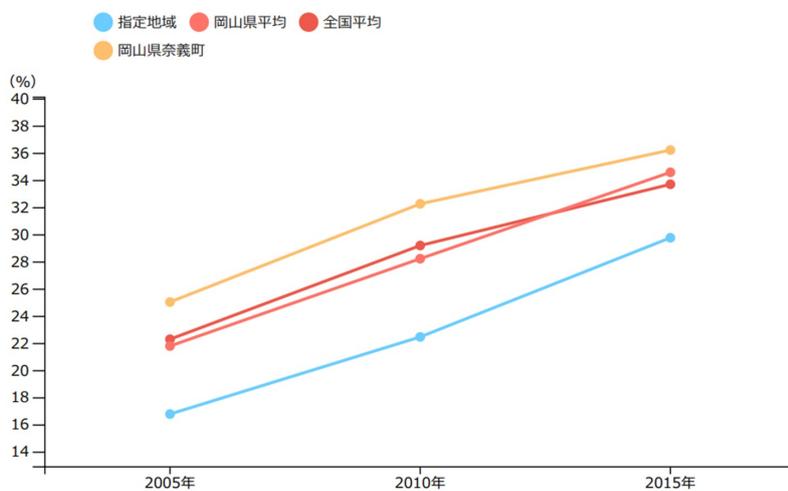
⑤農地流動化率

津山市は全国平均よりも低く、岡山県平均より低くなっています。

奈義町は全国平均よりも高く、岡山県平均より高くなっています。相対的に流動性が高い状況にあります。

農地流動化率

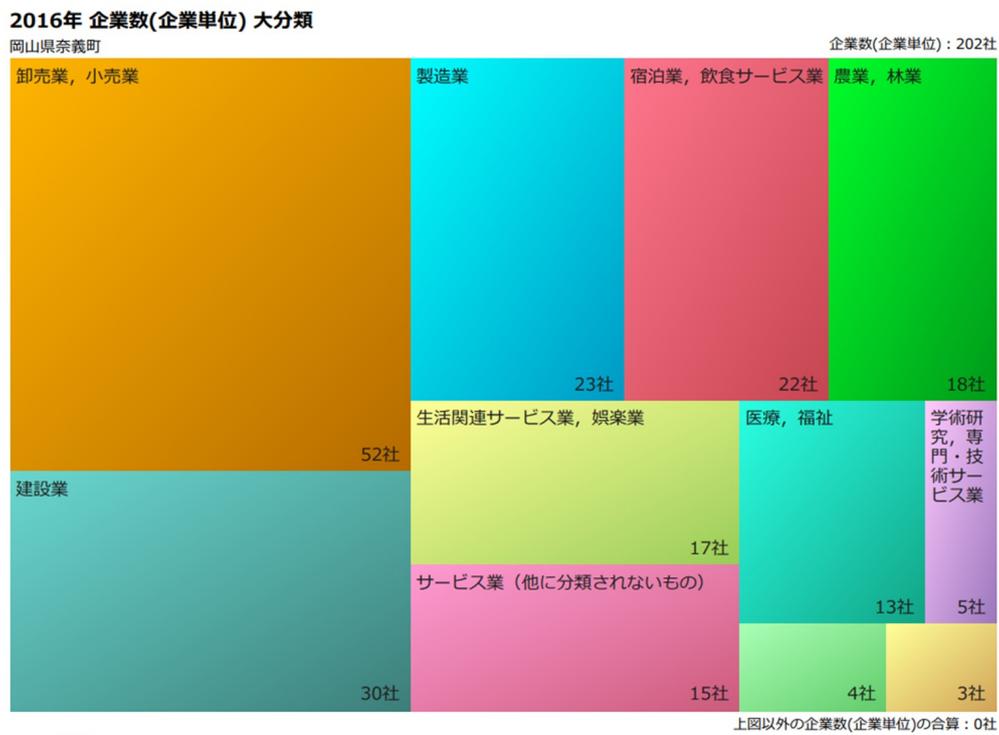
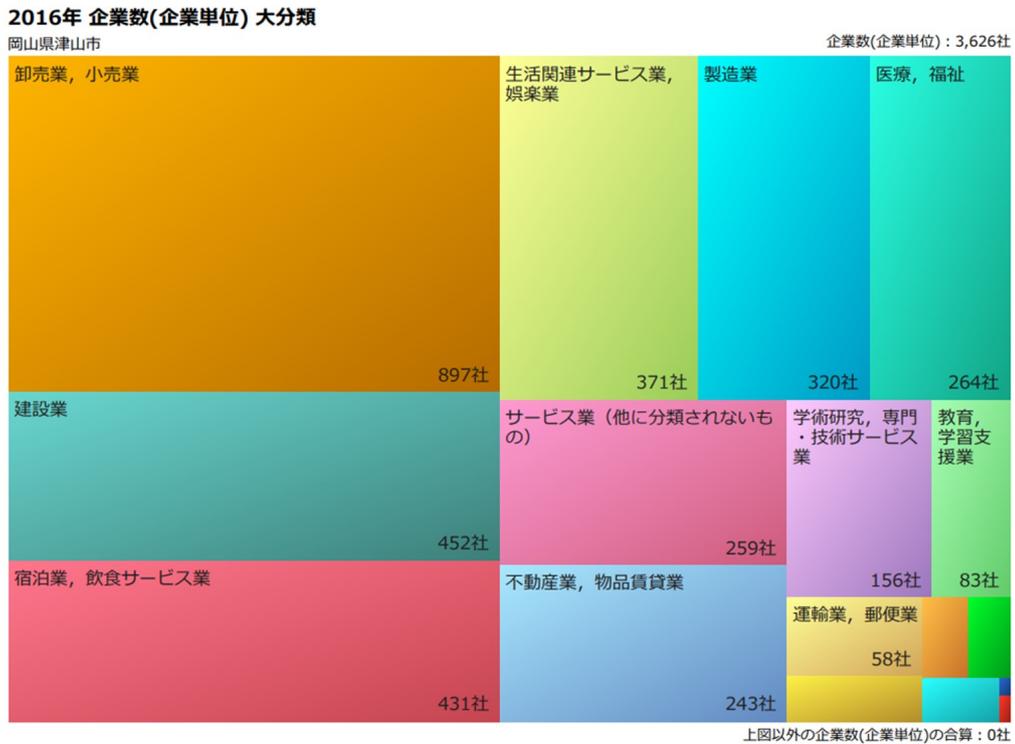
指定地域：岡山県津山市
農地区分：すべての農地区分



【出典】農林水産省「農林業センサス」再編加工

(2) 企業数 (大分類)

津山市は卸売業・小売業が最も多く、次いで建設業、宿泊・飲食サービス業となっています。
 奈義町は卸売業・小売業が最も多く、次いで建設業、製造業となっています。



【出典】 総務省「経済センサス基礎調査」再編加工、総務省・経済産業省「経済センサス活動調査」再編加工

(3) 企業数(中分類)

津山市は宿泊・飲食サービス業が最も多く、次いで洗濯・理美容、総合建設業となっています。
 奈義町は宿泊・飲食サービス業、洗濯・理美容が最も多く、次いで飲食料点小売業となっています。

2016年 企業数(企業単位) 中分類

岡山県津山市

企業数(企業単位) : 3,626社

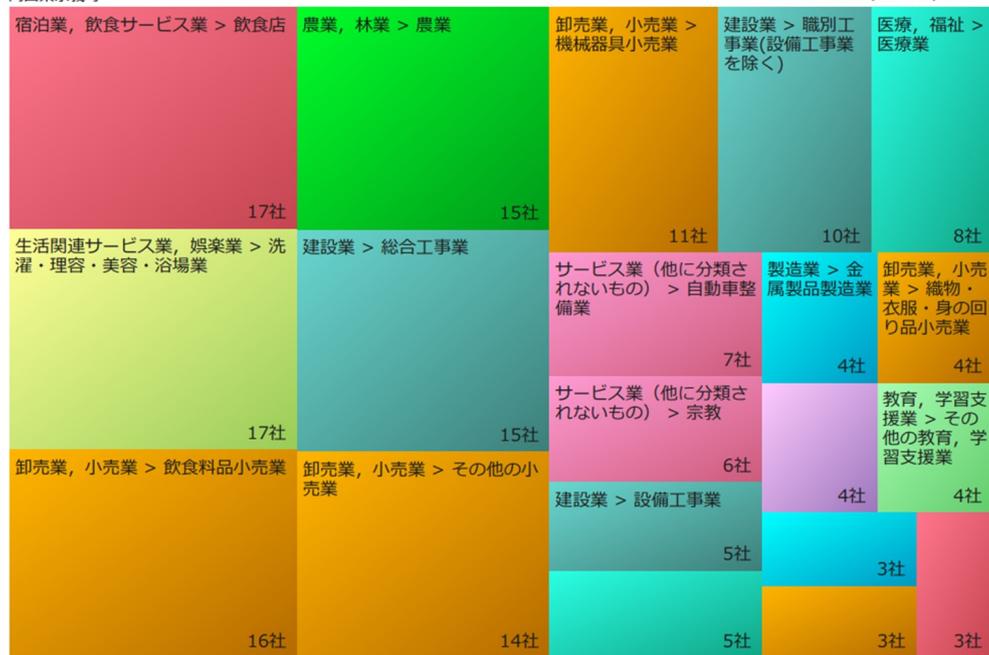


上図以外の企業数(企業単位)の合算 : 778社

2016年 企業数(企業単位) 中分類

岡山県奈義町

企業数(企業単位) : 202社

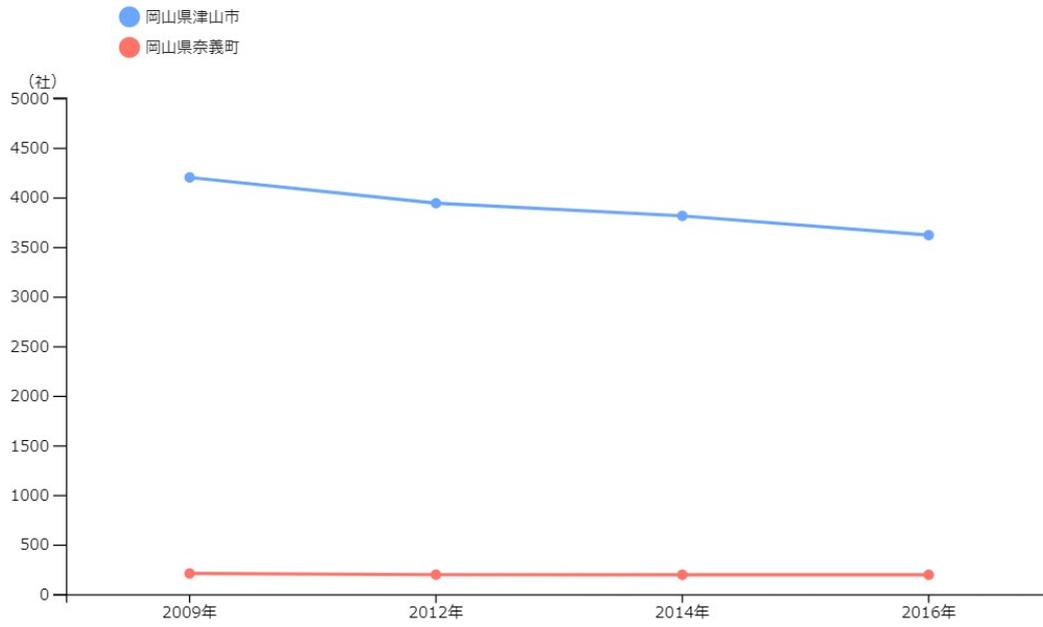


上図以外の企業数(企業単位)の合算 : 31社

【出典】総務省「経済センサス基礎調査」再編加工、総務省・経済産業省「経済センサス活動調査」再編加工

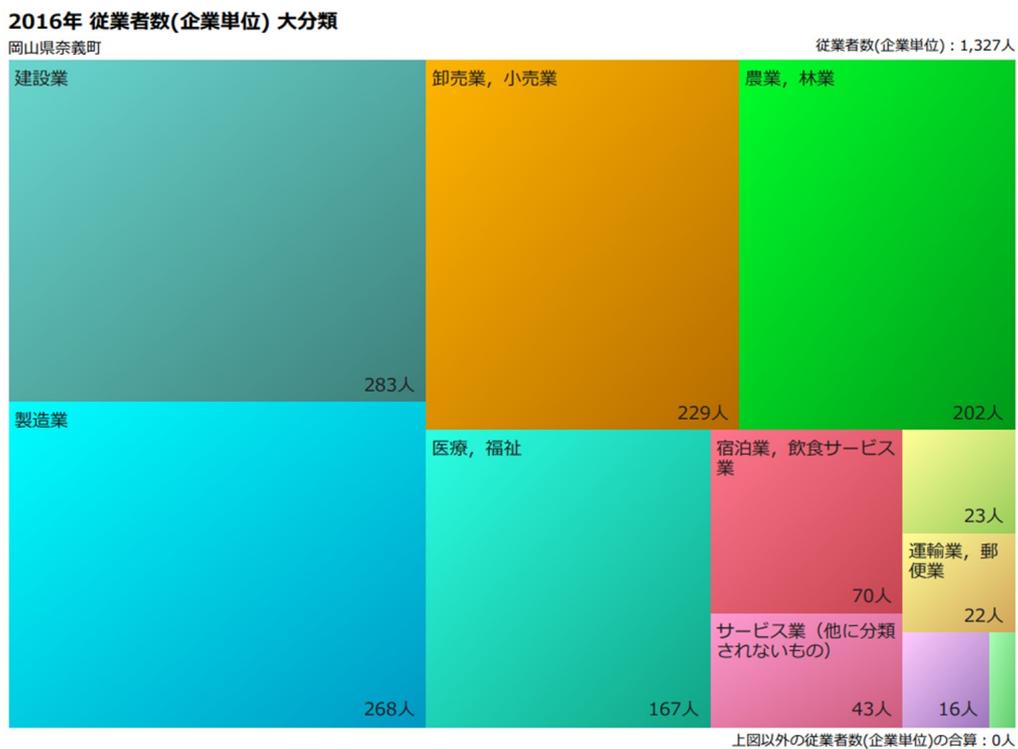
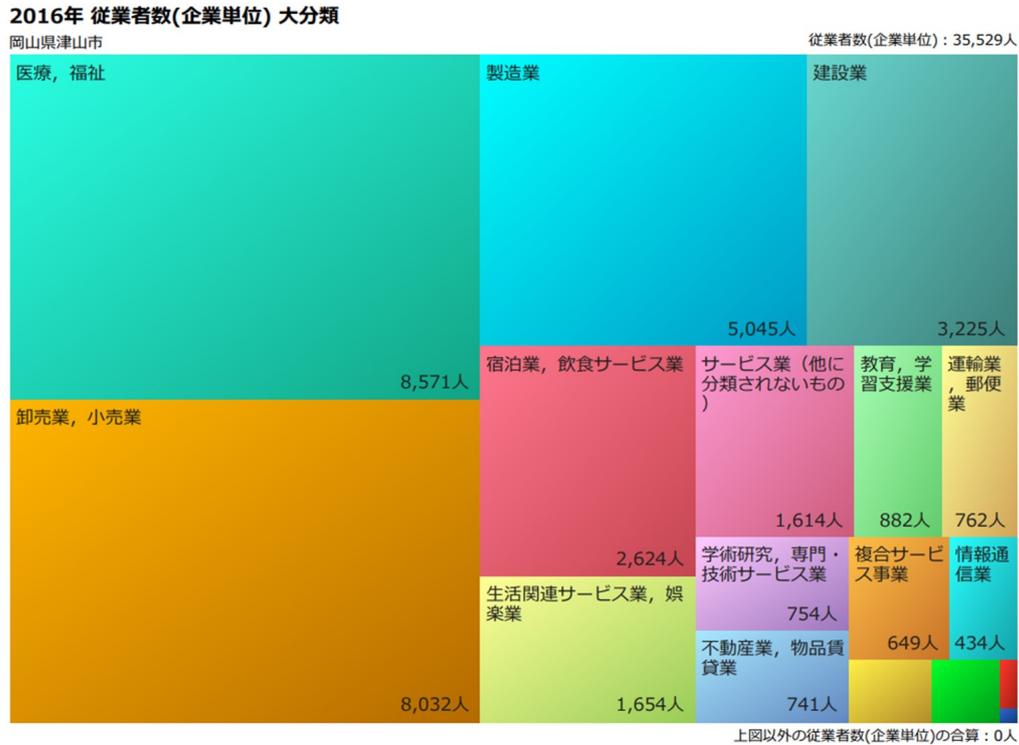
企業数

産業：すべての大分類 > すべての中分類



(4) 従業員数（大分類）

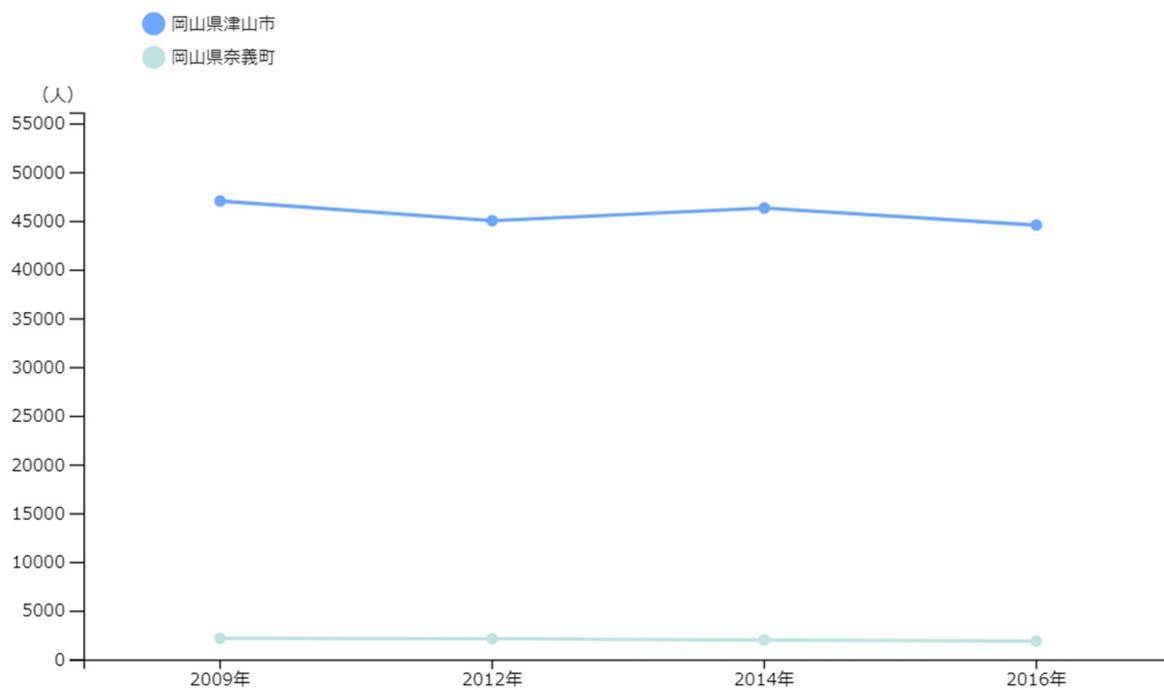
津山市は医療・福祉が最も多く、次いで卸売業・小売業、製造業となっています。
 奈義町は建設業が最も多く、次いで製造業、卸売業・小売業となっています。



【出典】総務省「経済センサス基礎調査」再編加工、総務省・経済産業省「経済センサス活動調査」再編加工

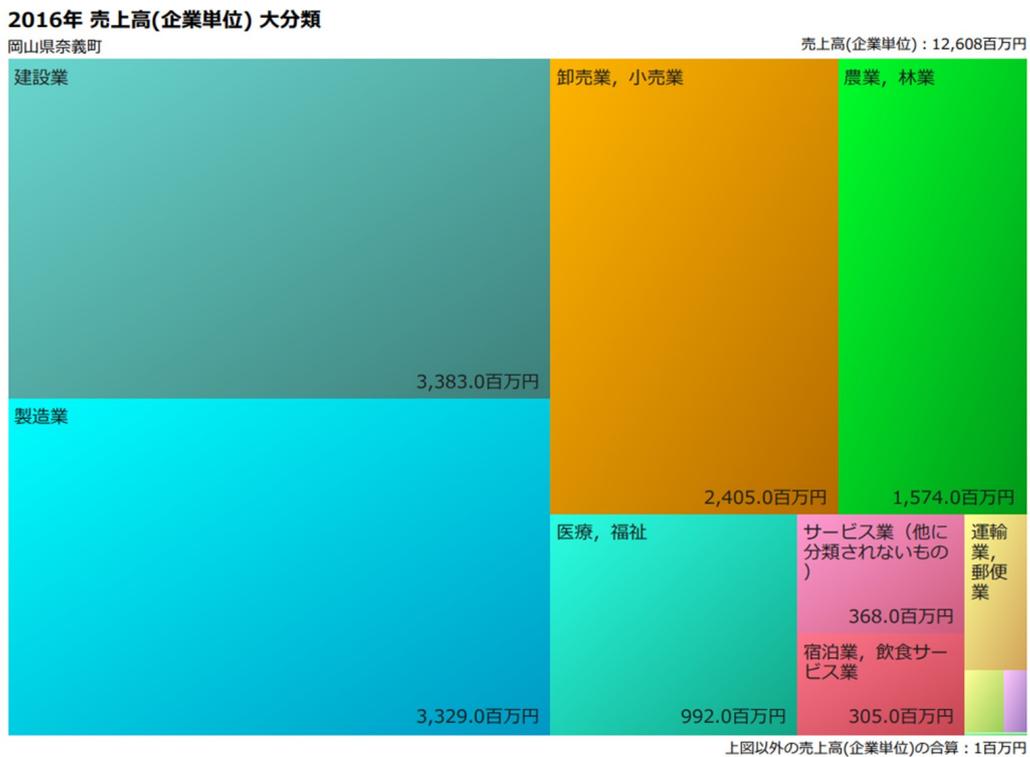
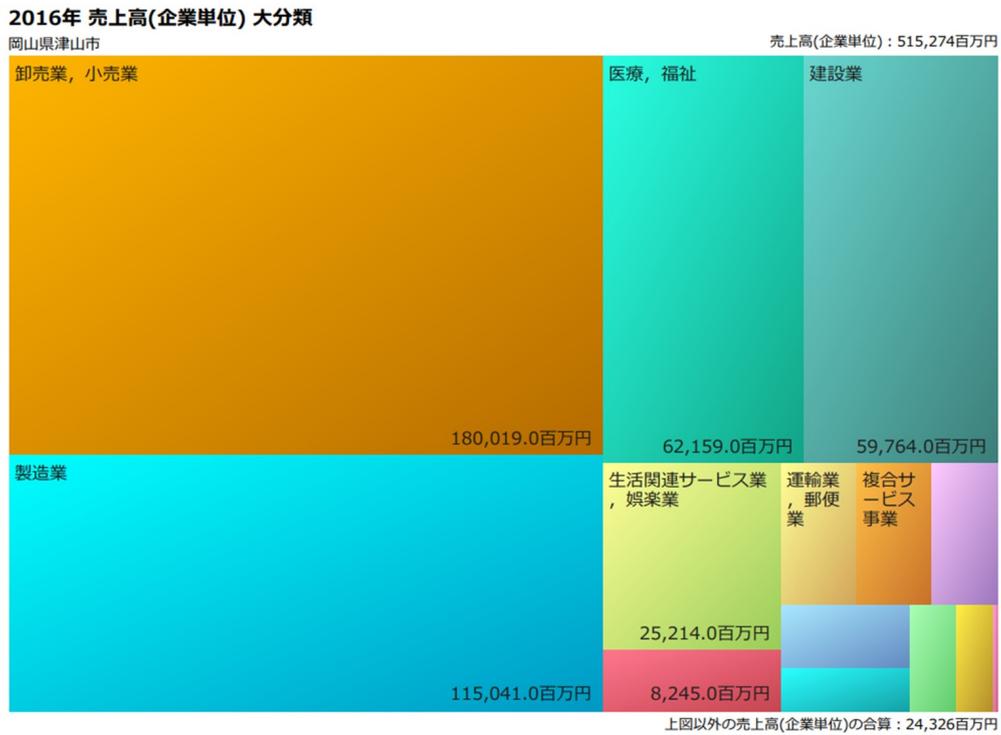
従業者数（事業所単位）

産業：すべての大分類 > すべての中分類



(5) 売上高 (大分類)

津山市は卸売業・小売業が最も多く、次いで製造業、医療・福祉となっています。
 奈義町は建設業が最も多く、次いで製造業、卸売業・小売業となっています。



【出典】総務省「経済センサス基礎調査」再編加工、総務省・経済産業省「経済センサス活動調査」再編加工

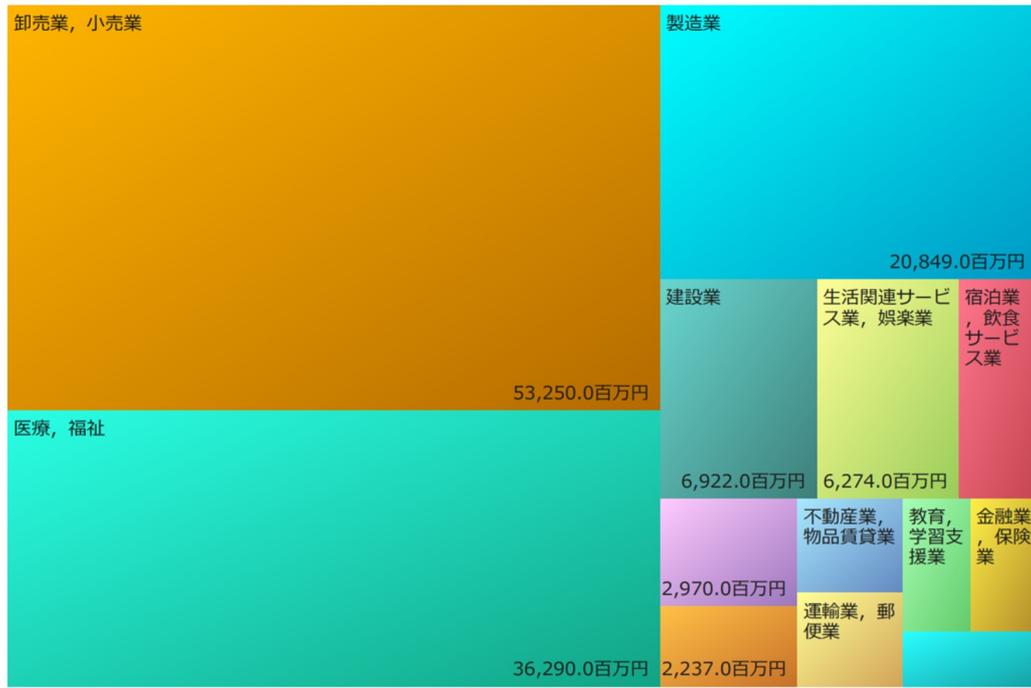
(6) 付加価値額（大分類）

津山市は卸売業・小売業が最も多く、次いで医療・福祉、製造業となっています。
 奈義町は製造業が最も多く、次いで卸売業・小売業、建設業となっています。

2016年 付加価値額(企業単位) 大分類

岡山県津山市

付加価値額(企業単位) : 147,961百万円

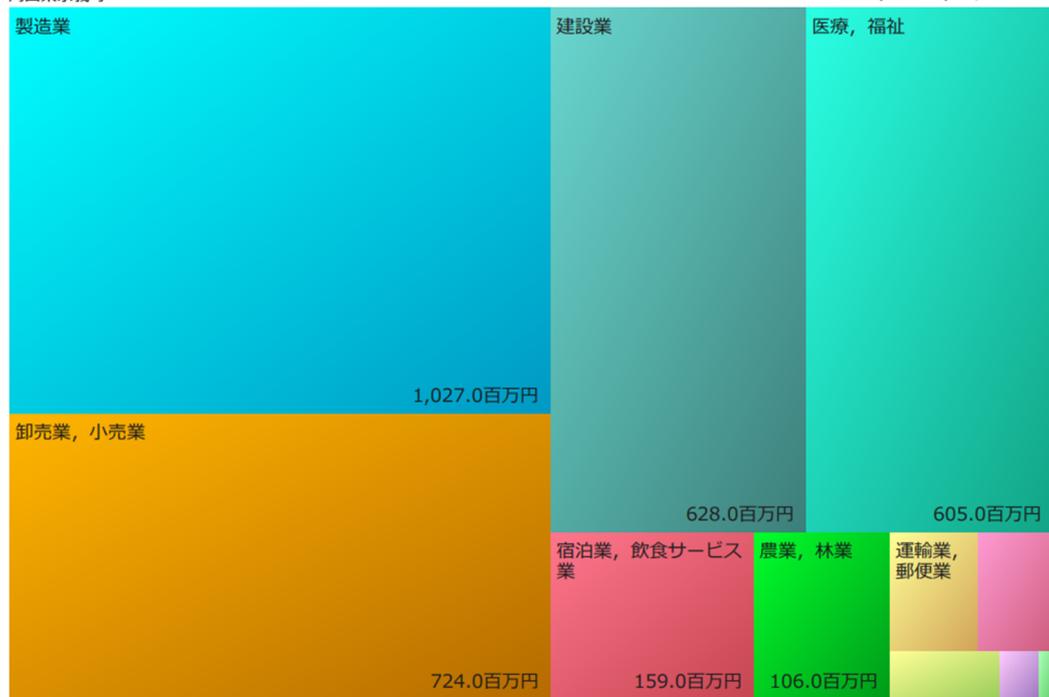


上図以外の付加価値額(企業単位)の合算 : 6,690百万円

2016年 付加価値額(企業単位) 大分類

岡山県奈義町

付加価値額(企業単位) : 3,377百万円



上図以外の付加価値額(企業単位)の合算 : 0百万円

【出典】総務省「経済センサス基礎調査」再編加工、総務省・経済産業省「経済センサス活動調査」再編加工

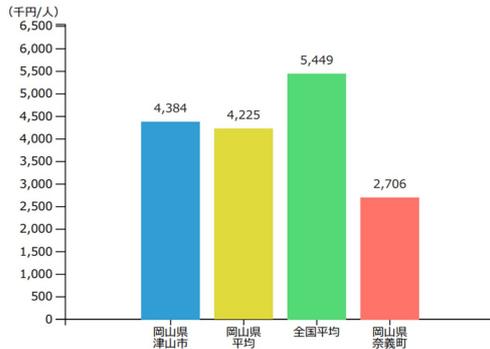
(7) 労働生産性

津山市全体では岡山県平均より高く、特に卸売業・小売業で高水準にあります。

奈義町全体では岡山県平均より低いものの、宿泊・飲食サービス業、医療・福祉では全国平均を上回ります。

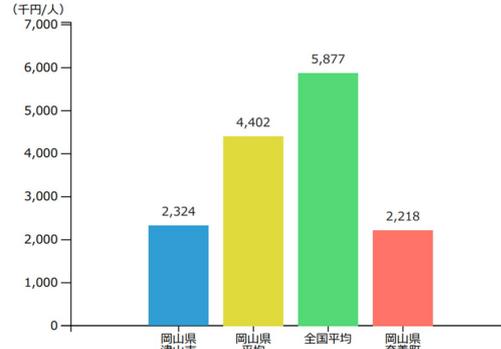
労働生産性（企業単位） 2016年

産業：すべての大分類 > すべての中分類



労働生産性（企業単位） 2016年

産業：建設業 > すべての中分類



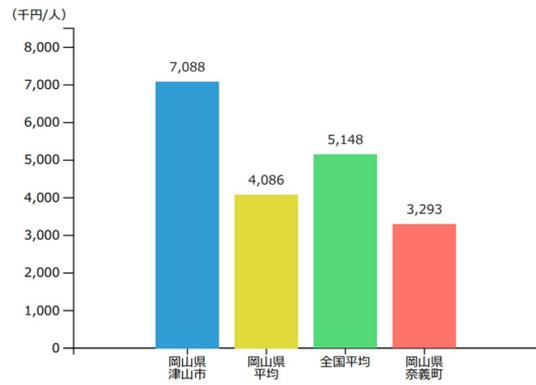
労働生産性（企業単位） 2016年

産業：製造業 > すべての中分類



労働生産性（企業単位） 2016年

産業：卸売業、小売業 > すべての中分類



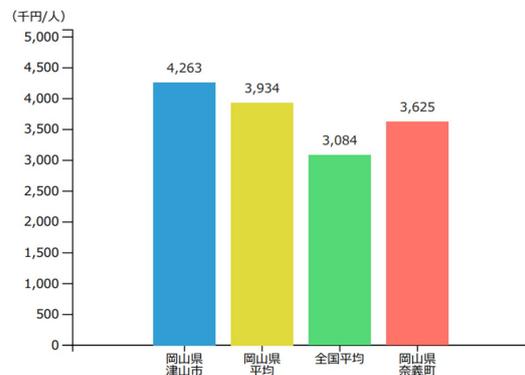
労働生産性（企業単位） 2016年

産業：宿泊業、飲食サービス業 > すべての中分類



労働生産性（企業単位） 2016年

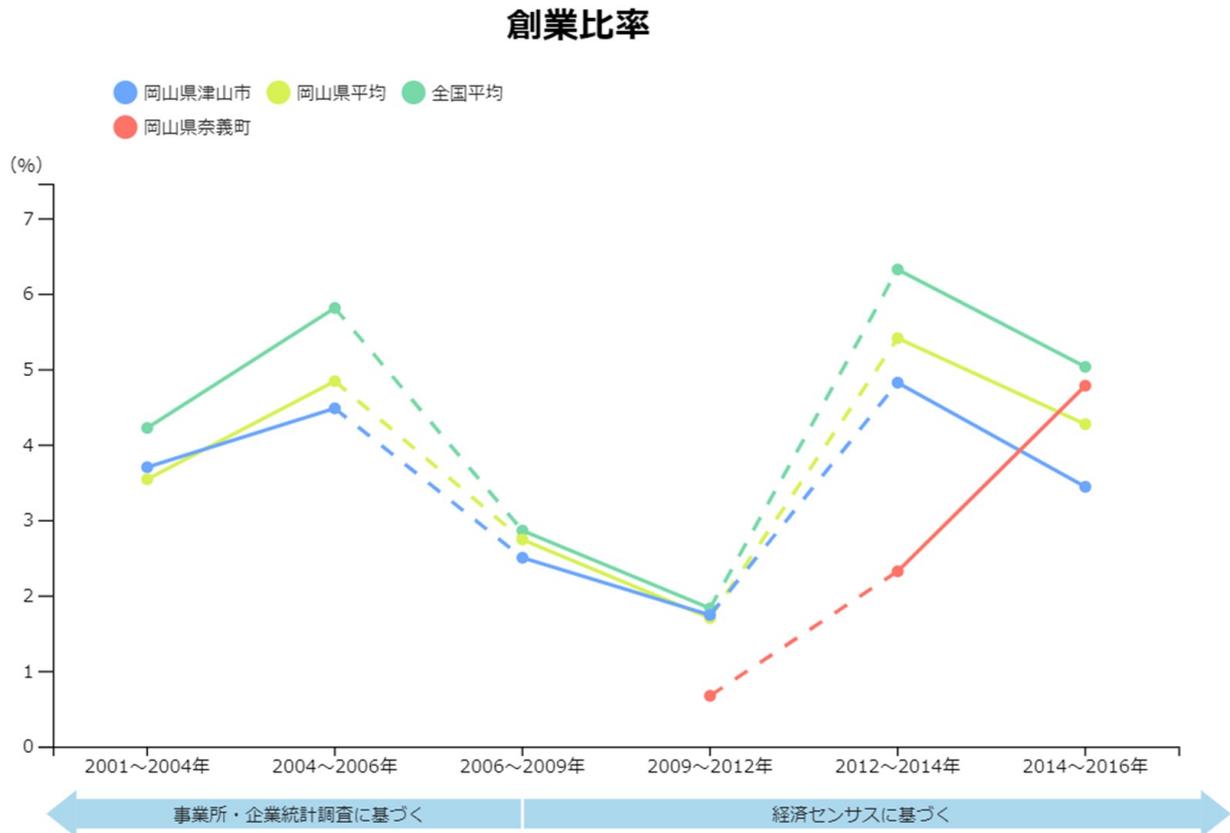
産業：医療、福祉 > すべての中分類



【出典】総務省「経済センサス基礎調査」再編加工、総務省・経済産業省「経済センサス活動調査」再編加工

(8) 創業比率

津山市は岡山県平均を下回っており、創業比率の傾向は低下基調にあります。
奈義町は岡山県平均を上回っており、創業比率の傾向は上昇基調にあります。



【出典】総務省「事業所・企業統計調査」、総務省「経済センサス基礎調査」、総務省・経済産業省「経済センサス活動調査」

【注記】

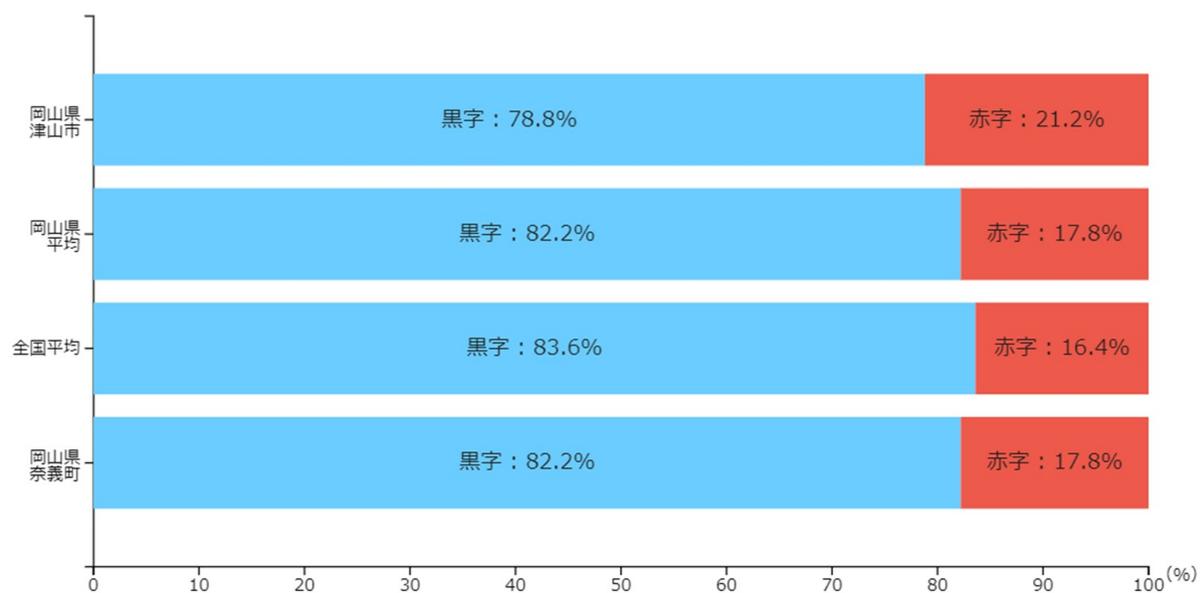
「平成 21 年経済センサス基礎調査」及び「平成 24 年経済センサス活動調査」では、新設事業所の定義が異なるため、「2006-2009 年」及び「2009-2012 年」の創業比率は、前後の数字と単純に比較できない。

(9) 黒字比率

津山市は岡山県平均を下回っています。
奈義町は岡山県平均と同水準にあります。

黒字赤字企業比率 2016年

産業：すべての大分類 > すべての中分類



【出典】総務省・経済産業省「経済センサスー活動調査」再編加工

3. 地域の人流動向

(1) 滞在人口の月別推移

津山市はおおむね年間を通じて滞在人口が国勢調査人口を上回っています。
 奈義町は休日の滞在人口が国勢調査人口を下回る傾向にあります。

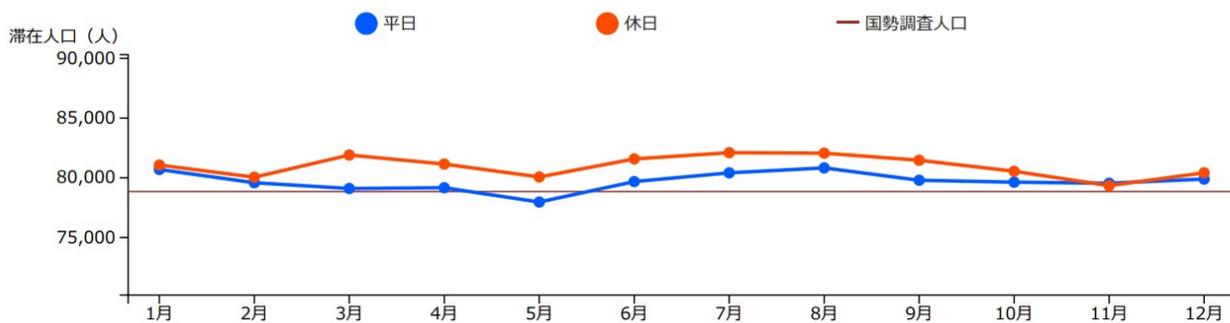
滞在人口の月別推移

岡山県津山市

2020年 14時

総数 総数（15歳以上80歳未満）

（国勢調査人口：78,844人）



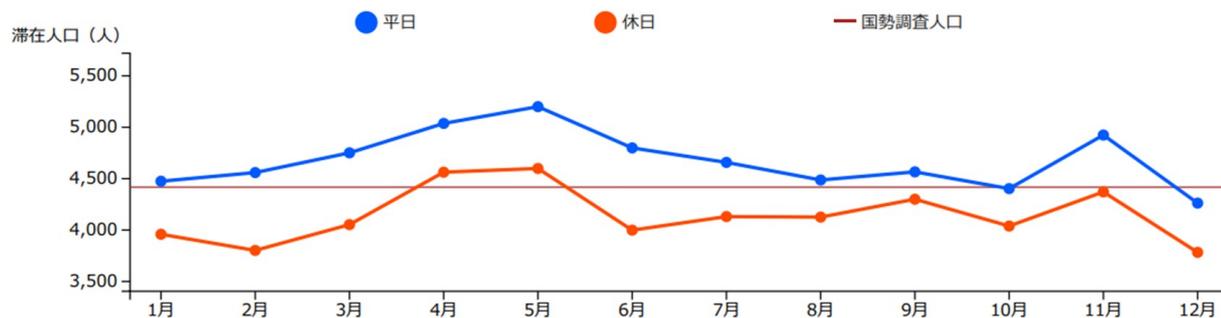
滞在人口の月別推移

岡山県奈義町

2020年 14時

総数 総数（15歳以上80歳未満）

（国勢調査人口：4,417人）



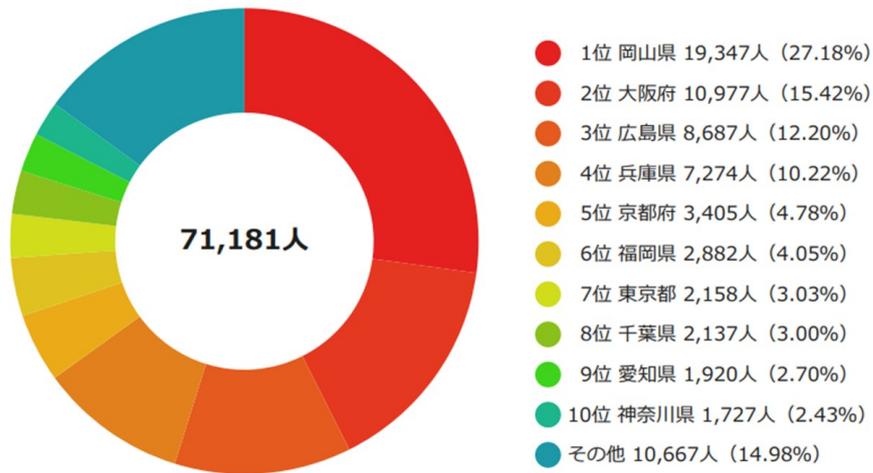
【出典】株式会社NTTドコモ・株式会社ドコモ・インサイトマーケティング「モバイル空間統計®」総務省「平成27年国勢調査」

(2) 宿泊客数（津山市のみ）

岡山県内の宿泊者が最も多く、次いで大阪府、広島県となっています。

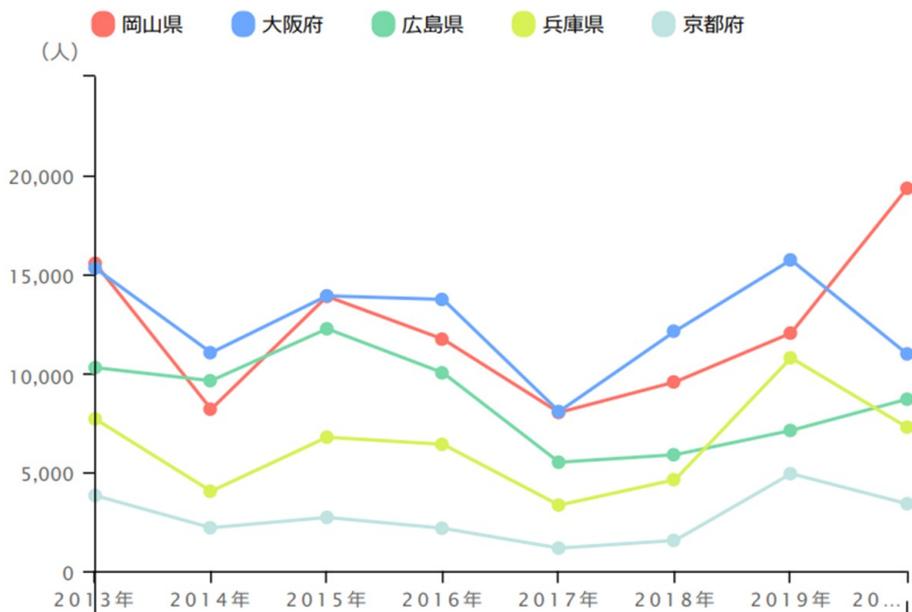
居住都道府県別の延べ宿泊者数（日本人）の構成割合

岡山県津山市
2020年



居住都道府県別の延べ宿泊者数（日本人）の推移

岡山県津山市



【出典】観光予報プラットフォーム推進協議会「観光予報プラットフォーム」

4. 新型コロナウイルス感染症による影響の把握・分析

(1) 滞在人口・宿泊者数

津山駅の滞在人口を2019年に比べると、2021年7月以降は県外からの移動が増加しています。

岡山県の滞在人口の動向 - 推定居住地ごとの2019年同週比の推移

2019年12月30日～2021年11月7日

代表観測地点

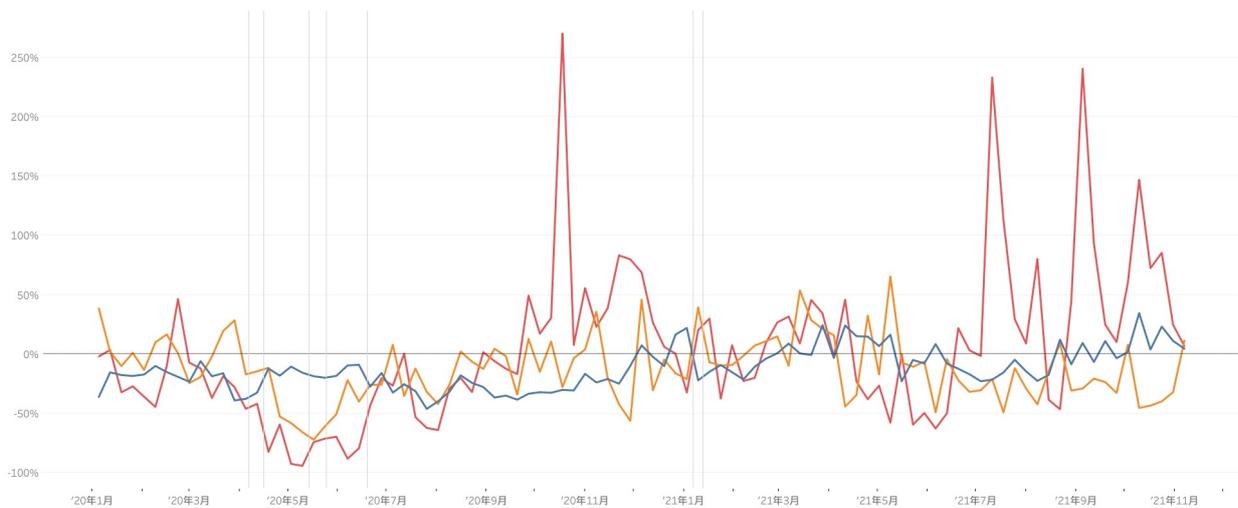
津山駅

時間帯

すべての時間帯

滞在人口の推定居住地：

■ 市区町村内 ■ 都道府県内 ■ 都道府県外



V-RESAS <https://v-resas.go.jp>

出典：株式会社Agoop「流動人口データ」（GPSデータを元に換算処理を施した人口換算値）を元に集計

(2) 作州地域の業況判断

新型コロナウイルスの影響により景況感がマイナスの状況が続いています。作州地域全体に比べ作州津山商工会管内の方が景況感は厳しい状況にあります。

| | | 令和2年 | | | 令和3年 | | |
|-------------------|-----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | | 4～6月 | 7～9月 | 10～12月 | 1～3月 | 4～6月 | 7～9月 |
| 作州津山DI (全体収益) | 実績 | ▲ 46.7 | ▲ 40.8 | ▲ 29.2 | ▲ 27.5 | ▲ 19.2 | ▲ 19.2 |
| | 見通し | ▲ 5.0 | 15.8 | ▲ 12.5 | ▲ 3.3 | ▲ 4.2 | ▲ 7.5 |
| つしんDI (作州全体業況) | 実績 | ▲ 49.2 | ▲ 29.0 | ▲ 15.4 | ▲ 9.3 | ▲ 16.9 | |
| | 見通し | ▲ 52.7 | ▲ 28.6 | ▲ 22.3 | ▲ 1.6 | ▲ 10.1 | |

※作州津山DI：作州津山商工会調べ、つしんDI：津山信用金庫調べ

(3) 保証・融資

①セーフティネット保証の申請件数

令和2年度に大きく増加しています。

セーフティネット申請件数

| | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|----|--------|-------|-------|-------|
| 勝北 | 0 | 1 | 61 | 5 |
| 加茂 | 0 | 0 | 27 | 0 |
| 阿波 | 0 | 0 | 4 | 0 |
| 久米 | 0 | 0 | 60 | 3 |
| 合計 | 0 | 1 | 152 | 8 |

※ 令和3年度は、10月27日現在の件数

②政策融資

マル経に関しては、全国で見ても津山管内のみが増加している状況です。

政策公庫 津山管内融資の状況

| | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和3年4月から9月 |
|-----|-------|-------|------------|
| 普通 | 760 | 1,370 | 400 |
| マル経 | 330 | 420 | 140 |
| 合計 | 1,090 | 1,790 | 540 |

政策公庫 津山管内融資の状況

| | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|----|---------------|---------------|---------------|
| 件数 | 307 | 351 | 221 |
| 金額 | 6,204,536,285 | 3,758,116,436 | 3,438,096,522 |

5. 地域別・業種別動向の分析・把握

(1) 作州津山商工会管内の経営者の年齢

勝北地域では 50 歳代であるものの、他の地域では 60 歳代となっています。経営者の高齢化の進展が伺える状況となっています。

< 勝北地区 >

| | |
|--------|----|
| 30歳代 | 13 |
| 40歳代 | 30 |
| 50歳代 | 21 |
| 60歳代 | 49 |
| 70歳代 | 34 |
| 80歳代以上 | 5 |
| 平均年齢 | 59 |

※作州津山商工会データから作成

< 加茂地区 >

| | |
|--------|----|
| 30歳代 | 7 |
| 40歳代 | 13 |
| 50歳代 | 19 |
| 60歳代 | 35 |
| 70歳代 | 31 |
| 80歳代以上 | 8 |
| 平均年齢 | 63 |

※作州津山商工会データから作成

< 久米地区 >

| | |
|--------|----|
| 30歳代 | 8 |
| 40歳代 | 19 |
| 50歳代 | 26 |
| 60歳代 | 52 |
| 70歳代 | 34 |
| 80歳代以上 | 14 |
| 平均年齢 | 63 |

※作州津山商工会データから作成

< 奈義地区 >

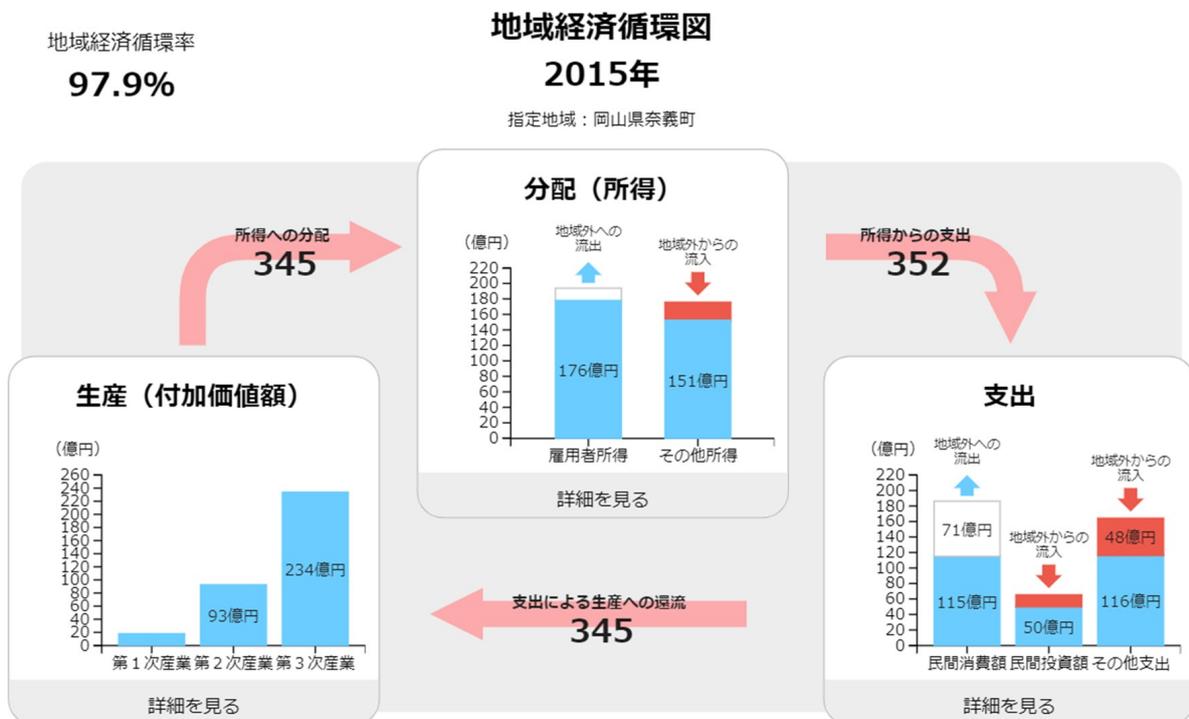
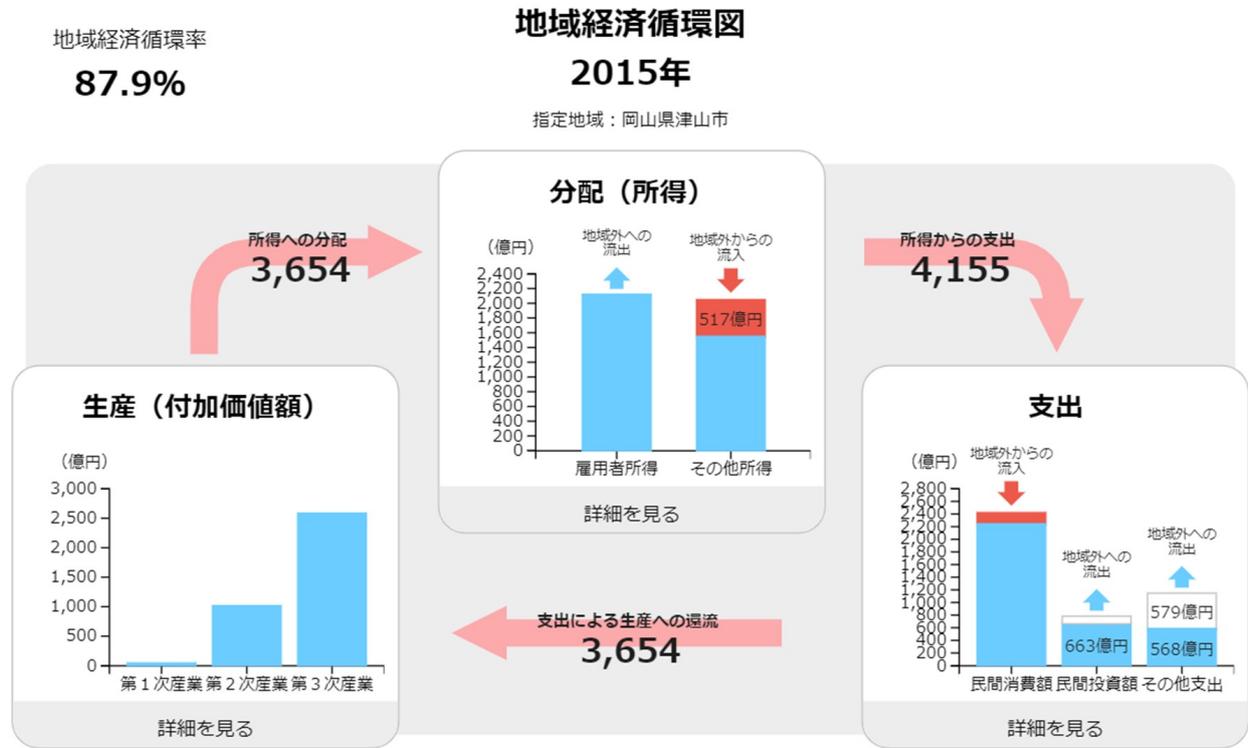
| | |
|--------|----|
| 30歳代 | 8 |
| 40歳代 | 26 |
| 50歳代 | 30 |
| 60歳代 | 34 |
| 70歳代 | 45 |
| 80歳代以上 | 11 |
| 平均年齢 | 62 |

※作州津山商工会データから作成

(2) 地域経済循環図

津山市の地域経済循環率は87.9%と多くの支出が流出しています。

奈義町の地域経済循環率は97.9%と比較的域内循環が行われています。



【出典】環境省「地域産業連関表」、「地域経済計算」(株式会社価値総合研究所(日本政策投資銀行グループ)受託作成)

(3) 業種別動向

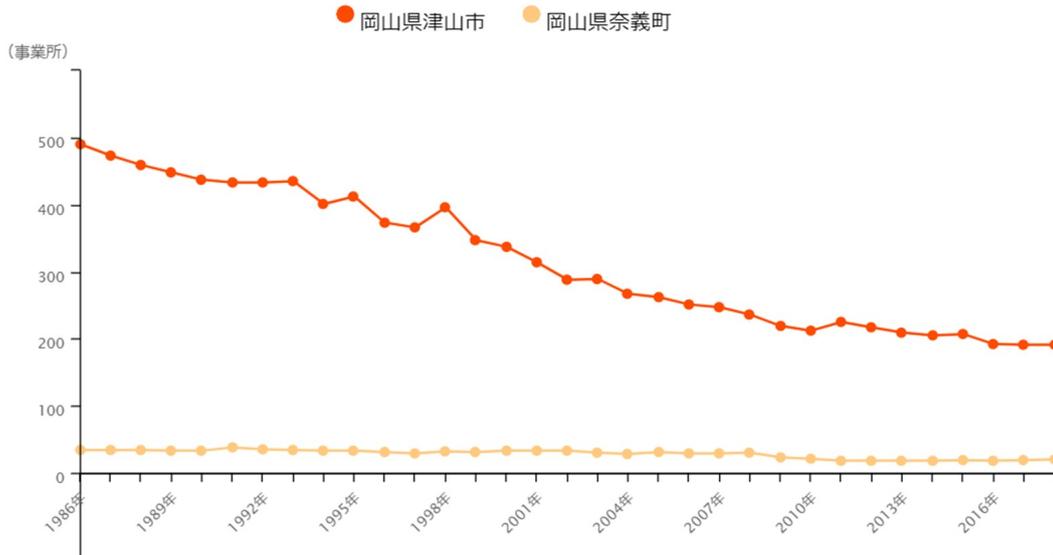
① 製造業

津山市の製造業数は1998年以降減少を続けています。出荷額等は近年増加傾向にあります。

奈義町の製造業数は減少傾向にあります。出荷額は2013年以降増加傾向にあります。

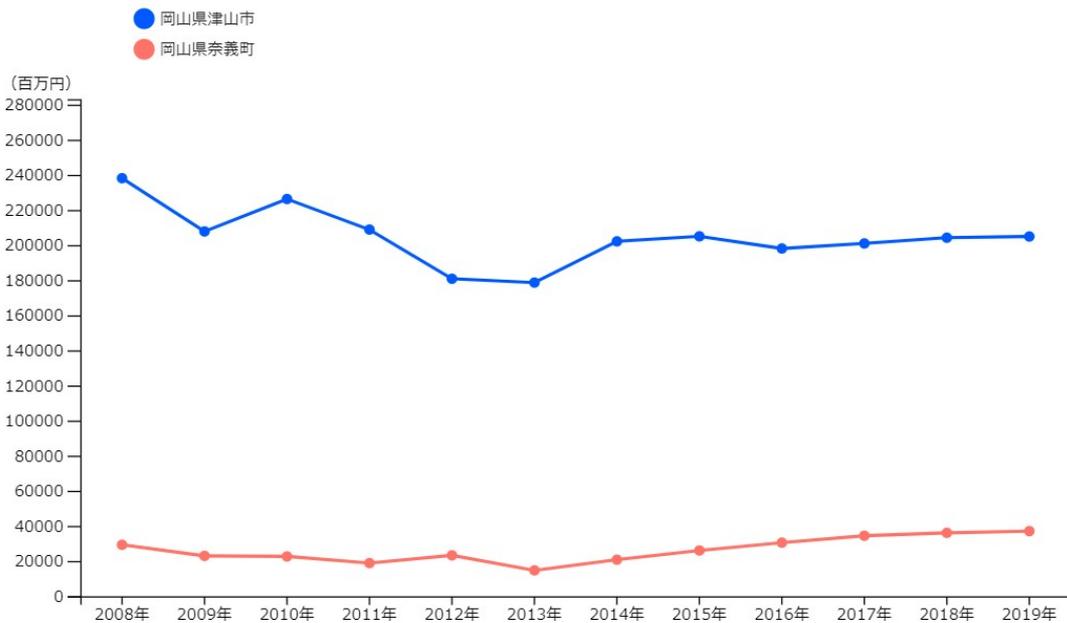
事業所数（実数）の推移

岡山県津山市
製造業 > すべての中分類



製造品出荷額等

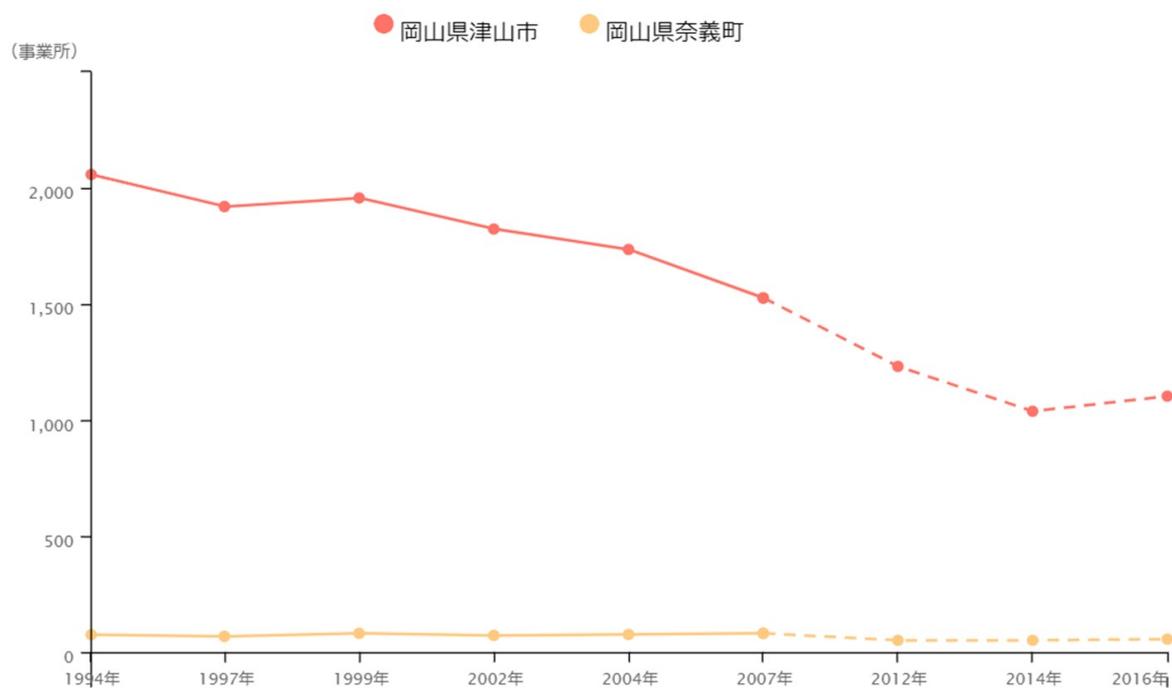
製造業 > すべての中分類



【出典】経済産業省「工業統計調査」再編加工、総務省・経済産業省「経済センサス活動調査」再編加工、総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」

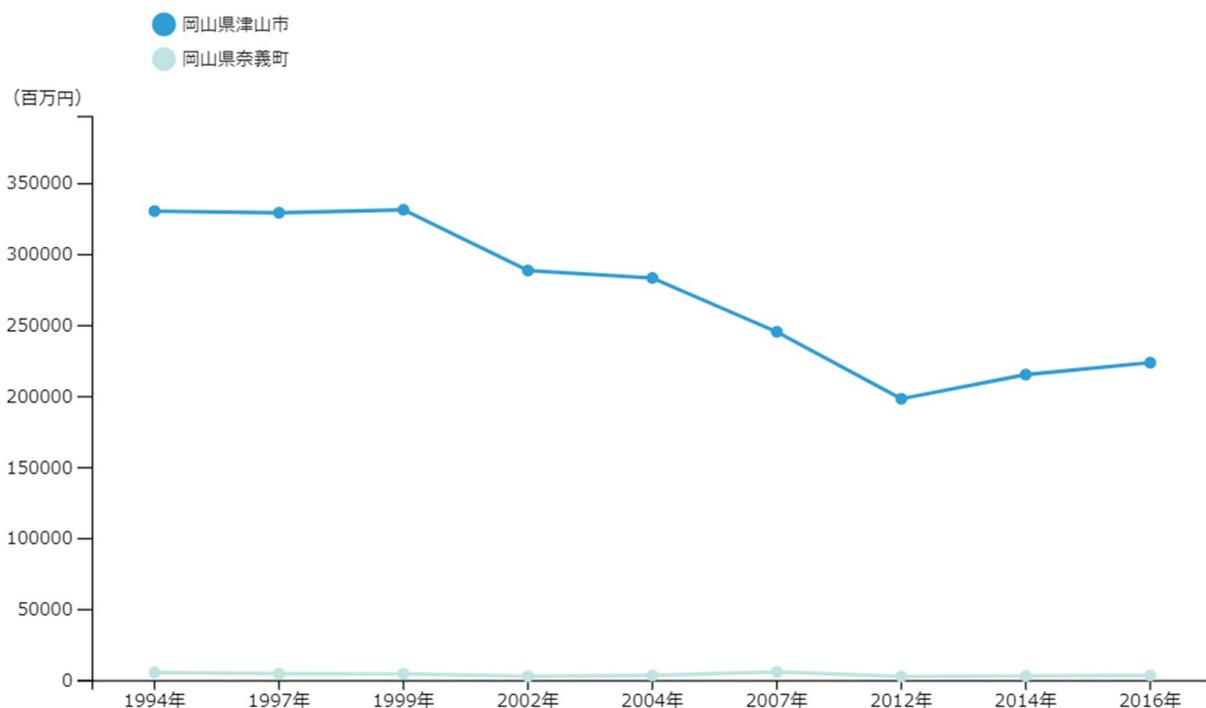
②卸売業・小売業

津山市の卸売業・小売業数は1999年以降減少傾向にあります。出荷額等は回復傾向にあります。



年間商品販売額

すべての大分類>すべての中分類



【出典】経済産業省「商業統計調査」総務省・経済産業省「経済センサスー活動調査」

6. 業種の経営改善の方向性

(1) 作州津山商工課管内の経済的特徴

①人口統計

大きく人口が減少する恐れがあり、高齢化も加速します。ただし、高齢者数も2025年あたりから横ばいもしくは減少となる可能性があります。津山市のうち、作州津山商工会管内地域ではより顕著となります。人口動態では自然減のみならず、社会減の影響をも大きく、移住定住や新たな雇用や起業の創出は優先度の高い取り組みとなります。世代別の人口移動では津山市では進学による流出が顕著な状況にあります。奈義町では就職による流出が高い傾向にあります。

②企業統計

企業数では津山市・奈義町ともに、卸売業・小売業、建設業が多いことは共通していますが、特に津山市は商業都市としての位置づけが強くなっています。これは津山市全体の傾向であり、作州津山商工会管内地域では奈義町の動向に近いと推察されます。雇用面では医療・福祉、建設業、製造業。卸売業・小売業の創出力が高く、売上高・付加価値では製造業、医療・福祉の存在感の高さが特徴的です。

労働生産性を見ると製造業、宿泊・飲食サービス業、医療・福祉において相対的に高水準にあります。

③企業動向

創業の状況では全国平均は下回るものの、相応の新規事業所の開設が行われている状況にあります。企業の収益性では、全国平均・岡山県平均と比べると低位の状況にあります。経営者の高齢が進んでおり、おおむね60歳以上となっています。地域内の経済循環では津山市は流出が大きい状況にあります。事業所数の推移では製造業、卸売業・小売業ともに大きく事業所数を減らしているものの、出荷額・販売額は増加に転じていることから、事業所の大規模化を推察することが出来ます。

(2) 各業種の経営改善の方向性

①建設業・製造業 ～生産性向上に向けた取り組み～

作州津山商工会管内において主要業種の一つであり、事業所数も従業者数も多い状況にありますが、労働生産性の低さが浮き彫りとなっています。

②卸売業・小売業、飲食サービス業 ～地域経済循環率の向上に向けた取り組み～

津山市では卸売業・小売業、奈義町では宿泊・飲食サービス業の労働生産性が高く、商業的な存在感の高い地域ですが、人口減少や高齢化による域内需要の減少が大きく影響を及ぼす恐れがあります。

③医療・福祉 ～雇用確保・人材育成に向けた取り組み～

雇用や売上・付加価値の状況を見ても、作州津山商工会管内における主要業種であることは間違いありません。一定以上維持される市場であることから持続可能な経営力の確保が必要です。